

AMED 橋渡し研究プログラム (大学発医療系スタートアップ支援) 慶應義塾支援拠点 シーズS0, S1公募

公募期間：2026年1月13日(火)～3月13日(金)正午(厳守)

今回の公募対象：シーズS0・シーズS1



各シーズ公募枠の概要

シーズ S0 (若手育成)	シーズ S1 (起業前)	シーズS2 (起業直後)
<p>対象：スタートアップによる医療系シーズの社会実装を志す大学等の研究者（若手人材） 支援期間：最長2年間 支援額：上限1,000万円/年</p>	<p>対象：スタートアップにより医療系シーズの社会実装を推進したい大学等の研究者 支援期間：最長3年間 支援額：上限3,000万円/年</p>	<p>対象：アカデミア由来の医療系シーズの社会実装を目指す起業直後のスタートアップ 支援期間：最長2年間 支援額：上限1.5億円/年</p>

慶應義塾 医療系スタートアップ支援拠点の特徴

医療系シーズの発掘・育成に強みをもつ協力機関VC	慶應義塾の特色を活用した橋渡し研究・起業支援	実績ある海外アカデミアや事業者と連携したプログラム
<p>KII 慶應イノベーション・イニシアティブ</p> <p>AN Ventures</p> <p>Saisei Ventures</p> <p>大鵬イノベーションズ</p> <p>三菱UFJキャピタル</p> <p>MedVenture Partners</p>	<p>慶應義塾の特色を活用した橋渡し研究・起業支援</p> <p>橋渡し拠点とスタートアップ支援部門が連携した継続的な伴走支援</p> <p>慶應ビジネス・スクールの人気科目「起業家に学ぶ」の受講機会</p> <p>CRIK SHINANOMACHI Center for Research and Innovation Keio University 慶應病院内のインキュベーション施設との連携</p> <p>産業界人材とのネットワーク、経営人材獲得支援など、大学が持つ起業支援の基盤・プログラムの活用</p>	<p>Stanford SPARKとの協力・連携による人材育成・課題支援プログラム</p> <p>iCONM in collaboration with Ubiolabs 日本から米国への展開を重視した医療系国際起業家育成プログラム</p> <p>TBAP 橋渡し研究や医療系の起業について柔軟な時間で学べるオンライン講座</p>

上記に加え、様々な施策や連携を通じ、人材育成、ネットワーク形成、パートナー探索などを支援します。

公募情報ページは [こちら](#)



Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

学校法人慶應義塾 医療系スタートアップ支援拠点

問い合わせフォームは [こちら](#)



イノベーション推進本部
Office of Innovation and Entrepreneurship

